

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 熊本県ひとり親家庭福祉協議会

事業報告

目的

すべてのひとり親家庭等には、児童が、その置かれている環境にかかわらず、心身ともに健やかに育成されるために必要な諸条件と、そのひとり親等の健康で文化的な生活とが保障されるものとする。母子・父子家庭及び寡婦に対し、その生活の安定と向上のために必要な支援を行い、生活・文化の向上を図るとともに、ひとり親が子育てと仕事を両立させ、経済的に自立することへの支援を目的とする。

1. 運営

(1) 理事会・評議員会の開催

①理事会

開催日	議 題
6月5日	第1回【書面決議】 ① 平成31年度事業報告書(案)、収支決算報告書(案)について ② 監事の任用について ③ 令和2年度の事業計画の変更について ④ 令和2年度夏季賞与について
7月26日	第2回【議案】 ① 会費収入について ② 職員の給与について
10月25日	第3回【書面決議】 ① 7月豪雨災害義援金について ② シビックホースからの助成事業について ③ 冬季賞与について
3月13日	4回【議案】 ① R3年度事業計画について ② R3年度収入支出予算書(案)について ③ 評議員・選任・解任選任委員の選任について ④ 事務局人事について

③ 評議員会

6月27日	第1回【書面決議】 ① 平成31年度事業報告書(案)、収支決算報告書(案)について ② 監事の任用について ③ R2事業計画の変更について
-------	--

3月27日	第2回開催【議案】 ① R3年度事業計画(案) ② R3年度収支予算(案)について
-------	---

④ 事務局職員・・・職員8名 パート8名

令和2年4月から新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3密になる会議の自粛、不要不急の外出禁止等により、理事会は、2回開催、2回書面決議。評議員会は、1回書面決議、1回開催。

2. 社会福祉事業

(1) 母子・父子休養ホームの維持管理

エレベーター点検 (1回/年)

消防設備点検 (1回/年)

(2) ひとり親無料職業紹介所

ひとり親と企業を繋ぐ無料職業紹介を行っており、就職に役立つ資格取得サポートから、企業とのマッチングまで、一人ひとりに寄り添った就業支援を行っている。

(3) 県下母子・父子福祉団体（母子会）の連絡調整及び育成強化事業

県下母子・父子福祉団体（母子会）一覧(令和3年3月31日現在)

会員推移（寡婦23%：母子74%：父子3%）

	市郡町	令和元年度	令和2年度	増減	児童扶養手当 受給者数
1	熊本市	195	583	388	7204
2	八代市	103	187	84	1388
3	人吉市				431
4	水俣市	57	89	32	219
5	玉名市	53	75	22	567
6	荒尾市				586
7	山鹿市	111	167	56	558
8	菊池市	37	55	18	520
9	宇土市				379
10	上天草市	26	34	8	238
11	宇城市	80	119	39	517
12	阿蘇市(小国、 南小国、産山含)	48	66	18	326
13	合志市	40	70	30	545
14	天草市				629
15	下益城郡	33	31	△2	68

16	玉名郡	14	53	39	389 玉東 60 南関 100 長洲 129 和水 100
17	菊池郡大津町	29	54	25	大津 339 菊陽 400
18	上益城郡(御船町、甲佐町、山都町)	38	56	18	352 御船 160 甲佐 112 山都 80
19	益城町、阿蘇郡シンママパパの会	14	44	30	484 益城 400 西原 30 南阿蘇 40 高森 14
20	嘉島町ひとり親家庭福祉協議会	9	32	23	嘉島 71
21	八代郡母子寡婦福祉連合会	56	61	5	氷川町 139
22	芦北郡	80	84	4	173 芦北 103 津奈木 70
23	球磨郡(球磨村、相良村、五木村、湯前村、錦町)	97	108	11	308 錦 160 相良 58 五木 5 球磨 37 水上 16 湯前 32
24	球磨郡(山江村、多良木町、あさぎり町)	0	11	11	353 あさぎり 187 多良木 114 山江 52
25	天草郡	21	29	8	苓北 60
	県ひとり親家庭	18	129	111	宇土市 31 人吉市 31 菊陽町 36 天草市 8 荒尾市 23
	合計	1,159	2,137	978	約 17,243

① 市郡会長・母子部長合同会議

R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会議を自粛したため、会議は、下記のとおり中止となった。

第1回 4月5日・・・中止

第2回 7月19日・・・年間行事について

ひとり親家庭生活応援事業について
会費徴収について

第3回 10月3日・・・オンライン会議

ひとり親家庭生活応援事業について
(1)事業拠点について
(2)応援物資の配付について

第4回 1月13日・・・中止

② あしきた青少年の家野外研修（1泊2日）

大自然の中で集団宿泊活動を体験することで、自主性と思いやりのある豊かな心を育て児童の健全育成を図ること。更に、ボランティア精神や社会参加への意識を育むことを目的とする。

対象児童：小学4年～6年 男女

活動内容：ペーロン艇、海水浴、プラホビー工作、ローラーリ्यूージュ体験

R2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修を中止。

③ 全国・九州及び熊本県母子寡婦福祉研修大会

●全国母子寡婦福祉研修大会（岡山県）

R2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修大会は中止。

●九州地区母子寡婦福祉研修大会（宮崎県）

R2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修大会は中止。

●熊本県母子寡婦福祉研修大会

R2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修大会は中止。

④ ひとり親家庭等新入学児童お祝い会

熊本県母連会員の小学校新入学児童とその保護者の皆さんと集い、小学校入学を祝い、楽しい学校生活となるよう願いをこめて学用品等を贈呈し、その健やかな成長を祈る。

R2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、お祝い会・・・中止

代替として、支援団体のお祝い品贈呈式を実施。

（蜜を避けるため、4団体、時間をずらして、ひとり親家庭の新入学児童へ手渡した。1団体ごとに、児童2名。）

贈呈日 : 2月28日(日)

贈呈場所 : 母子・父子休養ホーム 2F 会議室

対 象 者 : 熊本市母子会員の新入学児童
対 象 人 数 : 177名(男児96名、女児81名)
お祝品贈呈団体: 熊本善意銀行、熊本県共同募金会、熊本江南ロータリークラブ、
熊本市商工会議所青年部会

《お祝い品》 男児ランドセル・・・熊本善意銀行(品物助成)、熊本市商工会議所(品物助成)
熊本江南ロータリークラブ(品物助成)
女児ランドセル・村瀬鞆行(品物助成)、熊本江南ロータリークラブ(品物助成)
文具セット・・・熊本善意銀行(品物助成)
リュック・水筒・・・熊本県共同募金会(助成金)
絵 本・・・・・・NPO法人フローレンス

⑤ 親子ふれあいまつり

R2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催は中止。 ※2年毎開催

⑥ 親子レクリエーション助成金(ボランティア活動も含む) (熊本善意銀行助成金:100,000円)

各市郡で、楽しい仲間づくり・会員親睦・親子のふれあいなど含め、母子会活動の周知を図ることを目的として開催されている。これに対し、予算書と報告書が提出された市郡に、10,000円の助成金を県ひとり親家庭福祉協議会より支給。

R2年度:14市郡母子会へ支給

⑦ 広報誌「しらゆり」発行 ※年1回 R2年度は3月に発行。

事業内容や活動状況について、広く情報提供を行うため、毎年、母子会員、県下行政機関、各社協、民間団体、企業等へ配布。特に今年度は、「てとてとてお互いさまBOX」の活動報告としても活用。

(4) つなぎ資金貸付事業

①母子及び寡婦福祉資金就学支度資金に係る「つなぎ資金」

会員が扶養している子が申請する、母子及び寡婦福祉資金 就学支度資金の借入について、その資金交付を受けるまでのつなぎ資金として貸付を行う。

対象者:貸付申請時に本会員であって、引き続き本会員として活動が見込まれる者。

・令和2年度利用数:0名

②小口貸付

母子家庭の母、寡婦家庭に対し、緊急に必要とする小口資金を貸し付けることにより、その生活の安定と生活意欲の増進を図ることを目的とする。

貸付対象:資金の貸付を受けることの出来るものは、母子会加入1年以上で生活資金以外の
用途とす

る。また、貸付を受けた資金の償還が確実である者。

貸付額：50,000円以内（無利子） 2か月据置、10か月以内の償還

・令和2年度 貸付状況：100,000円（2件）

償還状況：70,000円、貸付額残高：30,000円

(5) 交通遺児を励ます会事業（(株)ウエスト基金助成金・積立基金を活用）

熊本県をはじめとする行政機関及び民間機関の協力により昭和45年12月に設立され、現在基本財産及び寄附金収入を主な財源として、お祝い金を支給している。

・令和2年度支給

① 小学校入学お祝い金 10,000円×3名

② 中学卒業お祝い金 20,000円×7名

③ 高校卒業お祝い金 30,000円×1名

(6) 全国夢応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」活用の状況（ローソンからの支援）

申請先：全国母子寡婦福祉団体協議会

対象要件：一人当たり 100万円以下の収入

対象者：中学3年生、高校1年～3年生

内容：申請書提出、作文、面接（コロナの影響で中止）

R2年度：県内の申請数 59人

奨学金受給決定者数 6人

奨学金：30,000円/人×12か月＝360,000円/人

(7) おたがいさま事業

①お下がり子ども服：「ひとり親家庭」を応援するために、寄付されたお下がり子供服・靴、大人の礼服、リクルートスーツなどを必要とされる家庭に無償でお譲りしている。R2年度は、3か所の拠点にも洋服を準備し、身近なところで、気軽にお譲りできる体制を整えた。

新②てとてとてお互いさまBOXプロジェクト事業

R2年3月調査のアンケート結果から休校に伴う子どもの昼ご飯の用意、費用等大変な状況で悲鳴を上げている世帯が35%に上ったことから、食材の配布を決定した。

4月：2回 1500世帯 お米、マスク

5月：1回 1500世帯 マスク

7月：水害被災地500世帯（球磨、葦北、八代市）

寄付の米、マスク、インスタント食品、お菓子、タオル、被服、靴、ミルク、牛乳、ジュース、災害時の食品、絵本等

支援者、支援品は別紙のとおり。

新③熊本豪雨（7月豪雨）災害に係る会員被害の義援金事業（全国母子寡婦福祉団体協議会）

上記豪雨で被災された会員の方々へのお見舞いの義援金（全国の母子会等から集めたの寄付金）

義援金申請：R2.9.1

義援金決定：R2、10. 5

義援金額：2,800,000 円

配付内容：

配付日：R2 10. 28

配付先：球磨、芦北、八代地域

配付金：（全壊）10 万円/世帯×9=900,000

（半壊）7 万円/世帯×14=980,000

（床上）5 万円/世帯×15=750,000

（床下）3 万円/世帯×5=150,000

（玄関口）2 万円/世帯×1=20,000

合計 2,800,000 円

⑧（8）新型コロナ感染拡大に伴うこども宅食緊急事業（NPO フローレンス助成事業）

新型コロナウイルス感染拡大に伴う減収、支出増で生活が困難なひとり親家庭に、食材、日常生活用品を提供。また、配布のための活動費用の支援。

（ア）活動費用（2000世帯への配布に携わる人の人件費） 150万円

（イ）お米券2000家庭分。200万円

県内2,000世帯のひとり親家庭に10月配布。

3. 公益事業

（1）居住支援法人業務（R1 年度 10 月事業開始）

住宅セーフティネット法に基づき、居住支援を行う法人として県から許可。住まいの住み替え、引越しなどに配慮が必要な世帯へ支援している。

熊本市：熊本市居住支援協議会に参加し、住宅確保要配慮者（ひとり親、低所得者高齢者、障がい者等）が安心して住み替えできる仕組みづくり、物件情報の提供手段などを検討中。

①令和2年度：住まいの相談件数 延べ51件（実数17件）

住み替え済み件数 4件（生保1件）

対応の流れ： 相談面談 →同行 →書類手続き →入居 ⇒入居後見守り

②国土交通省補助金事業

R2 年度から居住支援法人として、入居前相談、入居後の見守り実施に対しての助成。

（2）中学3年生受験対策講座（県の補助事業）

ひとり親家庭の児童を対象に「中学3年生受験対策講座」を開催。教育費の捻出が困難なひとり親家庭の子ども達へ（現役塾講師、3日間、無料）講座を行う。

時 期：1回目12月は集合研修、その後は、オンライン講座。

実施場所：熊本市（10人）、八代市（7人）で実施。

③（3）ひとり親家庭等困りごと応援事業（県の補助事業）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生活困窮が心配されるひとり親家庭に対し、県内に拠点を設置して、支援事業を行う

- ① 民間企業等から提供された食材や日用品等を県内各地へ配付し支援する。
- ② 県内拠点4か所において、定期的なフードパントリーを実施する。
- ③ 新たに設置した拠点で、食料保管などのフードバンクの機能を有し、当協議会の地域の学習教室、子どもカフェ、就労支援、母子会の会合、レクレーションなども実施できる場所としてなる。拠点施設開設：3か所（県南は人吉、県央は益城、県北は、和水）

新 (4) 熊本子ども見守りネットワークプロジェクト事業（休眠預金活用の助成事業）
（当協議会と子ども食堂ネットワークによるコンソーシアム事業。）

- ①実施期間：R210月28日～R310月27日（R210月28日～3月31日）
- ②実施内容：時間や経済的ゆとりが少なく孤立しがちで、精神的にも厳しい状況にあるひとり親家庭に経済的負担感の軽減、未来を担う子供たちの笑顔が取り戻せるような支援を実施することを目的に、コンソーシアム事業の助成事業に取り組んだ。支援をするためには、関係機関が緩やかにつながり、災害時は、支援の拠点として、機能することを目指すものである。
- ③1年後の目標：子ども食堂総数：100件
- ④ 子供支援団体が繋がりやすくなる、また団体の強みや特徴がわかるために、システム開発専門業者へホームページ作成を委託した（業務提案4社）
- ⑤ 緩やかに繋がる支援団体は、7団体と1企業となったが、30団体程度にしていく。

新 (5) 熊本豪雨災害被災地ひとり親家庭サポート支援事業（公益社団法人シビックフォース助成）
R2年7月豪雨災害の球磨、葦北、八代などの被災地域のひとり親家庭に対し、「ひとりじゃない」心のケア、子どもたちが災害の経験を前向きにとらえ、未来への夢を持てるよう「親子バスツアー野外研修」「生活相談会」「中学3年生受験対策講座」の事業を実施

- ①親子バスツアー野外研修参加者：44人（15世帯）
- ②生活相談（球磨1回、葦北2回）：参加者 延べ24世帯
- ③中学3年受験対策講座 参加者：7名（志望校に全員合格）

(6) 熊本県母子家庭等就業・自立支援センター事業業務 ※詳細：別添

- ①介護福祉士実務者研修：宇城市、11人 菊陽 12人
- ②歯科助手・歯科事務（スペシャリスト講座）ニチイ学館熊本 9人
- ③ワード・エクセルパソコン研修：熊本市（マリオネット） 19人
- ④ワード・エクセルパソコン研修（別途県補助）：八代市 8人、玉名市 10人

(7) 熊本市母子家庭等就業・自立支援センター事業（述べ受講者2998人） ※詳細：別添

- ①ひとり親家庭等の就業支援事業
- ②就業支援講習会等事業
- ③児童健全育成事業
- ④ひとり親家庭等地域生活支援事業
 - ・無料弁護士相談（月2回 第1・3水曜日 ※予約制）
 - 弁護士 井上 莉野・・・福岡弁護士事務所

弁護士 宮崎 耕平・・・アリオン法律事務所

弁護士 林 修平・・・京町弁護士事務所

⑤面会交流事業 ※令和2年度6月終了 1件

(8) ひとり親家庭等学習支援・交流事業 (県の補助事業)

学習支援事業は、教室を開いたところは、新型コロナ、水害等の影響で、36 教室から 32 教室に減少。R2年度の交流事業(学習発表会)は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止。

新(9)「こどもカフェ」事業 (R2年度の新規事業で県の補助事業)

この事業開始はR2年10月からである。

「夕方に教室を開くところが多い中、おやつ、インスタント食品小腹を満たすものを児童に渡し、ついでに、学習等への悩み及び送迎する保護者に生活・進路の悩みや要望など聴き、学習支援員は学習の進め方を知る」、という事業である。

この事業内容を学習支援者に理解してもらうのに時間を要した。

対象児童・保護者との面談等のR2年度実績は、予定件数の1/3程度。

4. 収益事業

(1) 売店事業 (売店活動：月～金。稼働時間：多い高校：6H)

- ① 熊本県立東稜高校・・・パート2名
- ② 熊本県立北高校・・・パート2名
- ③ 熊本県立菊池農業高校・・・パート1名
- ④ 熊本県立湧心館高校・・・パート1名
- ⑤ 熊本県総合療育センター・・・パート1名
- ⑥ 藤崎台球場売店・・・臨時職員
- ⑦ 八代県営球場

(2) 賃貸及び宿泊事業

- ① 母子・父子休養ホーム・・・昼間の部屋利用は、講習会等で延べ2,998人利用。宿泊は、体制が整はず、宿泊は0件

(3) 自動販売機設置事業

- ・6カ所 (装飾古墳館、温故創生館、パークドーム、パレア、八代球場売店、県営駐車場)

(4) 行政役務事業

- ・テープ起こし受託契約：熊本県用地対策課、労働局